

ひめだ高宏ニュース

NO.1321
20.12.8

12月定例会市議会報告

12月になるとさすがに朝晩冷えてきました。コロナ感染症の増加で、外出自粛をしている方も多いと思います。おひさんが照って風がなければ、外の方が暖かいときもあります。そんなとき昼間は外に出てひなたぼっこをしましょう。今日は、日本共産党市会議員の一般質問について報告します。

コロナ禍の市民生活支援を

12月1日(火)日本共産党の中村あさと市会議員はコロナ禍における市民生活と経済対策について一般質問しました。

中村あさと議員は、各種

支援制度を使って耐え忍んでいるもののコロナの感染が長期化し今後の見通しがつかないとのマーマンやスナックなどの事業者の話を紹介し、持続化給付金や

市の家賃補助などの対象を広げるなど制度の拡大を求めました。

また、雇用状況の悪化に關して、公務労働における非正規雇用の増加を指摘し正規化を求めるとともに、民間においても正規化の必要を求めるなど雇用環境の改善を求めました。

中村あさと議員は、学生を取りまく生活について、コロナ禍でアルバイトの量が減少し困難になっていることから、1日の食事が2回に一回になっていることや民衆が取り組んでいるフードバンクを紹介し、給付金の必要性を訴えました。

給付金制度について尾花市長は「市内の医療介護、福祉系の対象企業へ専門的職種で就職する学生等を対象に奨学金の返還を助成する制度を2019年

から実施している。…今後とも学生等への支援のあり方について、各々の制度の成果や社会情勢の変化なども見守りながら、調査、研究する」と答弁。

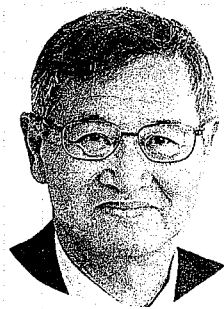
今週のフワッフワ

(その267)

サトイモにハマる

ナベに最適な季節になりました。今年のナベシーズンのスタートを今週にナベにしたところ、なぜか業務スーパーの袋入りサトイモ(皮むき)にハマっています。ほかにシイタケ、マイタケ、エリンギ、シメジ、エノキ、白菜など。豚肉の切り落としや厚切りベーコンなどと常連のメンバーばかりです。

牛蒡、ポトフ、おでん



ひめだ高宏

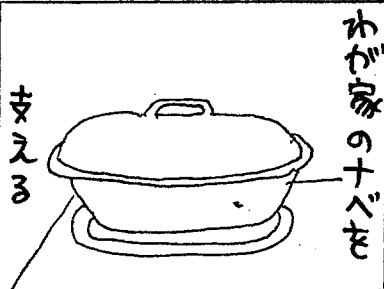
から、うどんや中華メニュー、乾麺などを入れて食べ続けます。具がなくなれば、ごはんを入れてゾウスイで終わります。だいたい朝、晩、火を入れて食べます。サトイモはジャガイモに比べて粘り強い?のか、溶けることもなく存在感を保ち続けるのです。

<1104>

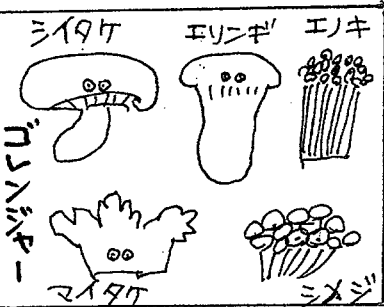
フワッフワの人々



おが家のナベも



サスる



フワッフワ

今年のニュー

スターは



サトイモ

味を変えながら



完食

1日2食はナベ

です。

加太地区の公共交通

「ヒュムントラ」
「乗合タクシー」

12月1日(土)日本共産党の坂口多美子社会議員は、加太地区の公共交通について一般質問しました。

坂口議員は、現行の加太地区のヒュムントラ型乗合タクシーの路線図と運賃、時刻表を資料として提示し、大川の停留所から田ノ庄の松原まで行くと片道600円かかり、一日4便の1時間前に予約が必要など不便な

ことや高齢者にとっては停留所まで歩くのが難しいなどの利用者の声を紹介し、制度改訂を見直し、より利便性が向上することを求めました。

ひとり親世帯への支援

新型コロナウイルス感染症による景気の悪化が、ひとり親世帯の困難につながっているとし、総務省が全国で明らかになっていることを、坂口多美子議員は、本府の児童扶養

手当の受給世帯への2000世帯のうち、2020世帯がコロナの影響で収入が減少していることを明らかにし、ひとり親世帯への支援策や相談窓口の周知について強く

要望を述べ、2020世帯がコロナの影響で収入が減少していることを明らかにし、ひとり親世帯への支援策や相談窓口の周知について強く

アベ内閣は

日本共産党

アベ前首相の証人喚問で「人間としてどうなのか」「居丈高に言葉を使っている」「(政府を)信用しないうちが選挙委員会に成り立たない」。アベ前首相は、持て成りた証人喚問

をめぐって国会を歩み、「アベ事務所は開きしていない」「ホテルからの明細書は出ていない」と繰り返し訴え、質問する野党議員を攻撃し、脅すような発言を繰り返しました。しかし、野党の追及に対するこの対応がウソであったことが、衆院調査局の調査で明らかになりました。調査

をめぐって国会を歩み、「アベ事務所は開きしていない」「ホテルからの明細書は出ていない」と繰り返し訴え、質問する野党議員を攻撃し、脅すような発言を繰り返しました。しかし、野党の追及に対するこの対応がウソであったことが、衆院調査局の調査で明らかになりました。調査

をめぐって一般質問しました。坂口議員は、10月2日(厚労省が出した「生きざび」の改訂について)とひとり親世帯への支援について

「ヒュムントラ」は「乗合タクシー」

コロナ対策として、ヒュムントラ型乗合タクシーが内閣府の支持率が急落しています。1月から毎週土曜の午前中、高野支那で「ヒュムントラ」が

神崎務士の「ハル」



海劇鑑賞会代表の神崎務士さんが12月4日、病気のため欠けられました。

神崎さんは、私と同じ年で和歌山と香りに興味も仕事も違いましたが、労働組合、演劇鑑賞会、共産党と同じような活動をしてきたこと、ヤチ平で市旗野郎の配役をしてきた関係から、私が初めて主役したときから、19年の参院選挙まで選挙のたびに一緒に歩いたことがあって

いふ事務文書と「ハル」の存在が、想像を誘っている。困窮している家庭を助すのも、多くを助けてほしい。

伝を告げました。名草社長でも、田市の問題が、カジノ反対を許しています。街頭で見かけた、目をかけてください。

くみしました。海劇鑑賞会に誘ってくれて、サークル「緑川」のノレン分けもしてもらいました。先に亡くなった和歌山の関口先生が「カニちゃん」は教え子だったけど、最初から先生と呼ばず「カニちゃん」と呼ぶようにして、子ども頃から交わって来たという思い出も、思い出があります。ありがとうございます。